



消防署利尻富士支署 新庁舎完成!

広報 

令和元年 6月号 No.244

いしり富士

平成31年度 町執行方針

町民が主役の まちづくり



平成三十一年利尻富士町議会定例会三
月会議の開会にあたり、町政執行に臨む
私の所信と施策の基本的な方針を申し述
べます。

昨年、天皇・皇后両陛下が御在位最後
となる地方事情御視察場所に利尻島を選
ばれ、八月の晴天のなか、両陛下が利尻
島を一周し町民皆様方とともに奉迎でき
ましたことが、昨日のように思えてなり
ません。本年度は御視察場所であるオタ
トマリ沼周辺に記念碑の建立を行いたく
予算計上しております。また、四月三十
日には今上天皇陛下が御退位され、皇太
子殿下が翌月一日に御即位されることに
国では、国民こそつて寿ぐことができる
よう準備を進めているとのことですので、
祝意を表したいと思っております。
私が二期目の所信表明において申し上げ
ているとおり、町長就任当初から基本

的な考えを変えず、五点の政策方針を更
に充実させるため、今議会に関連する平
成三十年各会計補正予算、平成三十一年
度各会計予算を編成し提案しております
が、昨年策定した「利尻富士町まちづ
くり創造総合計画」の指針に則り、今年
度も様々なまちの課題に全力を傾注して
町政を執行してまいりますので、議員各
位並びに町民皆様のご理解とご協力を賜
りたいと存じます。

一、豊かな自然と元気な産業の 振興発展

基幹産業である水産業につきましては、
昨年の利尻漁協全体の漁業生産額は、三
十九億九千六百万円と平成二十年の設
立以来最高金額となりました。

このうち、本町における漁業生産額は
二十億六千四百八十八万円であり、その
内容については、サケが回帰予想を大き
く下回り約一億円の減産となったのと併
せて、ノナ・ホッケ・カニ等も減産とな
りましたが、一方では、天然昆布を始め
として、ウニや養殖昆布、タコ等の水揚
げが大きく伸びて、結果的には、前年を
約九千八百四十万円上回る生産額となり
ました。

近年の傾向として、魚種によつては水
揚げの著しい変動があり、一喜一憂して
いる状況であります。その要因が自然
環境の変化によるものであるならば、私
たちの力は遠く及ばないものであります
しかし、この町の根幹をなす水産業を
守り育てて、未来に繋いでゆくの私

ちの使命であると考えるとき、これまで
取り組んで来た「育ててとる漁業」「管
理する漁業」、そして「後継者の育成」
をより一層、進めていかなければならな
いと思料しております。

さて、新年度の水産振興に対する取り
組みであります。漁業後継者として四
名が組合員になる予定であり、このうち
三名に報償として磯舟を贈呈する予定で
あります。昭和四十七年に利尻富士町漁
業後継者養成に関する報償規則が施行さ
れてから、新年度を含めて百二十七名の
後継者が制度の対象となり、磯舟を百七
名に、報償金を二十名に贈呈してまいり
ました。

一昔前までは、漁師の跡取りとして後
継者になる方がほとんどでしたが、近年
では漁業研修制度を活用して島外から漁
師となる方、人生の新たなチャレンジと
して漁師になる方など、後継者になつて
いく形態は多様化しております。

後継者の方々が、早く一人前になつて
地域の水産業を支えていただくために、
その家だけの跡取りでなく、地域の跡取
りとしてみんな育てていくことが大切
であると思つており、支援制度の継続や
充実而努力してまいります。特に、町が
全面的に支援し、平成二十九年から利尻
漁協鬼脇青年部が中心となり取り組んで
まいりましたウニ養殖試験は、さまざま
な苦勞を乗り越えて、本年において出
荷生産できるサイズまで見通しが立ちま
したことは非常に喜ばしいことであり、

成果に期待するとともに、これからの展
開にもさまざまな課題があるかと思いま
すが、引き続き支援してまいりたいと思
つております。

漁場の開発では、鬼脇南部地区並びに
駕泊地区で魚礁設置工事が継続実施され、
漁港関係では機能保全事業として鬼脇漁
港の南浜地区は南護岸の改良、旭浜地区
は南防波堤の改良、雄忠志内漁港では北
護岸の改良と、北防波堤改良の実設計、
本泊漁港は北防波堤改良工事の実施が予
定されております。

また、海岸関係では、雄忠志内海岸津
波・高潮危機管理対策緊急事業による護
岸工改良工事が開始され、複数年をかけ
て延長三百四十mの改良が実施されます。
港湾整備では、国直轄工事として駕泊
港鬼脇工区の防波堤改良工事の継続実施
と、新たに内港二m物揚場の改良に向け
て測量設計が実施されます。

次に、観光についてであります。平
成三十年上期における観光客の入込数
は十二万三千三百人で、前年の同期対比で
九千五百人の減、宿泊客延数は七万二千
二百人で八百人の減となりました。

一方で、外国人観光客の延宿泊者数は
三千五百七十三人で八百八十六人の増と
なっており、平成二十五年度の約五倍と
大きく伸びてきております。
観光客入込数は、平成二十七年度の十
三万二千八百人を底に、増加に向かつて
まいりましたが、五月のヒゲマ大陸によるキ
ャンプ客等のいるものと確信し、今後
も観光産業の振興発展に取り組んでまい
る所存であります。

また、昨年の執行方針でも述べました
が、町内外のいろいろな人たちが、四季

折々の自然や生活、体験等の情報をS N S（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）で発信しており、これが観光客誘致に繋がるなど、観光産業の強力な応援団となっておりますので、これからも島の情報を発信していただければと期待しております。

新年度においても、滞在型観光促進への取り組みを継続して実施しますが、新たに国内外のサイクルツーリズムの推進強化を図るため、自転車観光を軸とした国内向け滞在フリープランの造成及び販売や、国内サイクルツーリズム先進地の有識者や海外旅行会社及びメディア招聘による受入環境整備の向上や、海外からの旅行商品造成に繋げるための現地調査を行うほか、北海道遺産に選定された漁業遺産などを新たな観光資源として活用し、将来的な滞在プランの造成に結びつけるため、旅行会社招聘による現地調査などの事業にも取り組んでまいります。

また、近隣市町村や観光事業者が連携し、より効果的な観光振興の展開を図るための地域連携DMOの構築に向けた検討については、本町としても協力体制の強化を図っていききたいと考えております。

一、離島住民の生活基盤の改善対策

本年一月からフェリー運賃が消費税増税分と、バンカーサーチャージ分を除くと昭和六十年以来三十三年ぶりに二等自由席で二十九・五%の値上げが行われましたが、離島住民は有人国境離島特別措

置法により従前と変わらない金額で乗船できることとなっております。しかしながら、車両運賃や住民以外の乗船運賃の値上げによって食糧物資や建設資材の高騰、今シーズンからの観光客への影響が懸念されることから注視していかねばならないと考えております。このほか、航空路運賃の低廉化、水産物等輸送費の負担軽減、滞在型観光の促進、雇用機会拡大の振興策については有人国境離島特別措置法により引き続き取り組んでいくところであり、離島における漁場生産力の向上などの支援として交付される離島漁業再生支援交付金、国が直接販売業者に支援する離島ガソリン流通コスト支援事業についても同様に実施されます。

航空路線運賃につきましては、日本航空（JAL）・全日空（ANA）とも、お客様のより良い利便性及び負担軽減を図るため、従来より行っております離島住民割引制度等の助成について継続してまいります。

通年運航のJAL便（利尻―丘珠間）は、春のゴールデンウィーク及び、お盆期間の増便につきましても運航する予定ですし、海の日を含む七月十三日から十五日まで、敬老の日を含む九月十四日から十六日までと、秋分の日を含む九月二十一日から二十三日まで、体育の日を含む十月十二日から十四日までの、それぞれ三連休において昨年同様、増便を予定しておりますので、運航時間など決定次第周知いたします。

また、季節運航となっているANA便（利尻―千歳間）は、本年も六月から九月

までの四カ月間運航されることになっており、今後も離島住民の生活、医療、観光、経済の活性化に必要不可欠な生活路線でありますので、運航事業者に赴き航空路線の維持・存続を図ってまいります。

また、FDA（フジドリムエアライズ）においても昨年に引き続きチャーター便運航計画が現段階で予定されておりますので、期待をしているところであります。

利尻空港で使用している車輛配備については、北海道から昨年度にスノースイーパー車と化学消防車各一台の更新をされましたが、今年度についてはスノースイーパー車一台の更新を予定しており、運航に必要な地上体制の整備を要望してまいります。

町道整備については、栄町三号線改良、ポロフンベ線舗装補修、本泊漁港線側溝改修を実施するとともに、冬期間の町道除雪につきましても安全な道路環境を確保するため道路の維持管理に努めます。

道道整備ですが、駕泊市街地の道路整備につきましては、平成三十年度末に完成予定としておりましたが、事業区間内の工程等の関係によりまして今年度秋頃まで工期が延長される事となっておりますのでご報告させていただきます。

旭浜地区の改良は、昨年から事業化され移転補償等が本格的に進んでおり、今年度も引き続き残りの移転補償・橋梁工事の一部が実施される予定となっておりますので、今後におきましても道道の維持補修も含め整備促進について要請を継続して行っております。

住宅施策については、富士野団地一棟四戸、見晴ヶ丘団地一棟八戸の改善工事を利用富士町公営住宅長寿命化計画に基づき事業実施します。

個人住宅等の建設促進については、栄町地区の町有地分譲と民間賃貸住宅建設制度に關しましては、現在、社会資本整備交付金の利用も視野に入れながら北海道と協議を進めているところであります。

市街地整備関係では、平成二十五年に駕泊市街地まちづくり協議会、駕泊市街地整備促進期成会の皆様と協議し策定しております計画で、既に整備が進んでいるもの、現在、整備方針の見直しを進めております関係で変更が出る可能性があるものもございますので、協議会等の皆様と整備に向けて進めてまいります。

また、市街地の空地となっております土地は個人所有が大半を占めておりますので、民間事業者の方々の利用動向に関する情報も得ながら、土地利用及び市街地整備を進めてまいります。

空き家については、基本的に老朽化しております危険な建物等は、所有者が自主的撤去をするのが基本となっております。しかし、現状では維持管理がなされずおらず飛散等が起こりうる状態も見受けられますので、国の制度等を見極めながら検討してまいります。

水道事業につきましては、町民の生活や産業活動に欠かす事のできない重要なライフラインであり、清浄で安全・安心な水を安定供給するために、水質管理と施設の維持管理を図ってまいります。

下水道事業では、下水道長寿命化計画

に基づき、鴛泊処理場の老朽化した機器の更新をいたします。また、現在の下水道長寿命化計画が終了する事から新たに下水道ストックマネージメント計画を策定し、引き続き施設の適正な維持管理に努め、清潔で快適な環境づくりを進めます。以上のとおり、離島地域で生活している住民が、本土との格差を是正し解消していくためにも国や北海道に対して、離島であるがゆえの経済負担を強いられるという実情を訴え、講ずるべき対策等を協議していただき、地域住民の生活基盤の改善を図ってまいります。

三. 町民を守る安全・安心な基盤整備

近年の異常気象による猛暑や記録的豪雨、地震などの自然災害、なかでも昨年九月の北海道胆振東部地震では全道的な停電によってライフラインが大打撃を受けました。本町では、こうした有事の際を想定しながら毎年防がら毎年防災対策の整備を進めており、今年度は指定避難場所や鬼脇支所等四カ所に災害時対応公衆WiFiを整備します。消防関係



では、消防庁富士支署の新庁舎が完成となり、四月十九日に落成式を挙行する運びとなっております。新庁舎は、停電時も無給油で三日間稼働可能な自家発電装置を備え付け、新たな防災拠点として機能充実化を図り、災害から町民の生命・財産を守るべく、さらなる防火・防災対策に万全を期するところであります。救急業務につきましても救急救命士八名体制を維持しつつ、職員に大型車輻免許の取得や、消防学校専科救助課程・火災原因調査過程へ入校させ、知識・技術の向上を図ります。

治山・砂防事業関係につきましては、宗谷森林管理署所管の治山事業は、ゼロ国債で行う湾内地区のコンクリート法枠工事と、国の二次補正で行う港町地区の土留固定工事、森林・保安林整備では防火線の刈払い及び下刈りを町内各地区で予定しております。

稚内建設管理部の砂防事業では、オチウシナイ川の土砂が過剰堆積となった場合に使用する除石用運搬路の整備、リヤウシナイ川は平成三十年補正による堰堤の嵩上げ、宗谷総合振興局林務課では、鬼脇・野中地区の保育事業が予定されており、

町で実施する事業では、以前より本町地区より要望がありました商店裏法面の現状調査を実施いたします。これからも、国・北海道と連携を図りながら町民が安全な生活が確保できるように要請してまいります。

四. 笑顔で暮らせる住み続けたいまちづくり

日本は世界一の長寿社会を迎えています。本町でも今年度百歳を迎える方が三名おります。高齢者が充実した生活をするためには健康寿命が大事であります。そのためには幼児から高齢者まで、すべての人が元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会をつくるのが重要となっております。

平成二十七年から始まった「利尻富士町健康づくり計画二十一(第二次)」が五年の折り返しとなる本年は、町民皆様が笑顔で元気に暮らせるよう、地域や関係機関と連携を図り、これまでの施策を評価しながら新しい時代に向けた健康づくりについて協議を重ねます。

この健康づくり計画の基本方針をもとに「すこやか健診事業」のがん検診や生活習慣病等の受診率向上を図ってまいります。また、各自治会や保健福祉推進員をはじめとする関係機関の協力を得ながら各種の保健事業に取り組みとともに、継続して実施している「利尻富士町健康体操」の定着化のため「健康体操マイスター」の活躍の場の拡大と若年層への普及・啓発に取り組み、町民一人ひとりが健康に関心を持ち、地域に生活する町民みんなで健康づくりに取り組める社会環境を整えます。

健康増進法の一部を改正する法律が昨年公布され、受動喫煙を防止するための措置として、本年七月一日からは学校や病院、行政機関や児童福祉施設等でも受

動喫煙防止をするための措置が必要となります。このため対象施設の管理職で対策組織を設け、公共施設等の受動喫煙防止についての措置に努めてまいります。母子保健関連として、これまで実施してまいりました各種施策を継続し、新たに新生児の健やかな成長のため、新生児聴覚検査の受診奨励を行うとともに、検査費用の一部助成を実施します。

長期にわたり定期的に治療が必要な難病者や小児慢性特定疾病に係る島外医療機関への交通費や宿泊費の一部助成を継続して実施します。高齢化社会のなか、一人ひとりが医療や介護が必要な状態になっても、できる限り住み慣れた地域で安心して生活を継続できる環境を整備していくことが課題となっておりますが、一方で重度の要介護者や認知症高齢者が増加するなど、医療及び介護の連携の必要性はこれまで以上に高まってきています。このため地域包括ケアシステムを構築するための取り組みを引き続き推進し、島内医療機関との連携を図りながら、保健・介護・医療サービスの向上に努めてまいります。

現在国が進めている「幼児教育の無償化制度」は、本年十月から本町の保育所も無償化の対象となり、実施時期に向けて条例の改正等準備を進めるとともに、多様化する保育ニーズや栄養管理、入所する園児一人ひとりの個性に合わせた保育業務を実施してまいります。

また、国の経済政策として実施される、低所得者及び三歳未満の子が属する世帯を対象とした「プレミアム付商品券」の

販売を本町でも実施します。これは、該当世帯の消費に与える影響緩和とともに消費喚起と下支えを目的として国が全額補助するもので、割引率二十%の、券面額二万五千円を販売額二万円までとして購入限度額が設定されておりませんが、本年十月より販売を予定しておりますので対応に向けた準備を進めてまいります。

持続可能な医療保険制度の構築にあたり、昨年四月からは北海道も国保の運営に関わるようになり広域的な保険運営が始まりました。全国的に見ても北海道の医療費は著しく高い状況が続いており、本町においても人口減少に伴い医療費全体は減少しているものの一人あたりの医療費は伸び続けております。今後においても全道で同じ水準の保険料を目指すため、北海道への納付金は変動が予測されますが、健全な国民健康保険運営ができるよう努めてまいります。

駕泊診療所につきましては、昨年十一月から脇本先生が着任し、総合診療を担当していることから外来患者が増え、診療体制の効果がえつつあります。本年四月から月に一度札幌から整形外科医師が出向し診療する予定となっておりますので、国保中央病院と連携をとりながら医療の充実を図ってまいります。

介護サービス施設の運営にあたっては、制度改正等により厳しい運営を余儀なくされておりませんが、保健・医療・福祉の関連する各サービスと連携を図りながら適切なケアプランのもと心のこもった質の高いサービスを提供できるよう、指導徹底を図ってまいります。

秀峰園では、老朽化した施設の建替えを行い、ユニット型の居室を設けるなど入所者が安心して生活できるように本年度から施設整備に着手いたします。整備期間は、既存施設の解体、外構工事を含め二カ年を予定しております。また、デイサービスセンターでは、開設から使用していたボイラーの取替えを行い、利用者の利便向上に努めます。

利尻島老人保健施設では、厨房用備品として電気消毒保管庫及びドアタイプ洗浄機の入替えを行い利用者への安全な食事の提供に努め、介護サービス管理システムを更新し、利用者の体調管理やケア記録、請求事務などの効率化を図ってまいります。

五. 未来を担う人づくりと 支え合う環境づくり

本町の教育施策を推進するにあたっては、総合教育会議により定めた教育大綱を踏まえて、「社会で活きる実践的な学力を育成する教育の推進」、「安心・安全な教育環境の整備と支援の推進」、「生涯学習の充実と文化・スポーツ活動の振興」という三つの基本指針を軸として、施策を着実に実行していく必要があります。

そのため、未来を担う人づくりを一層推進するとともに、子どもたちの成長を支える環境づくりや、本町独自の歴史・文化といった魅力・価値を継承し、情報発信する取組みについても展開してまいります。三年前から実施している「ふるさと教育体験事業」として、本年も北海道エ

システム（HAC）の協力を得ながら五月二十九日に小学六年生を対象とした遊覧飛行を計画しております。子ども達が利尻島の地形や風景を上空から見学することで、自分たちが育んできたまちに誇りを持ち、生涯忘れることのない経験をさせたいと思い、予算計上をしておりますのでご理解を賜りたいと存じます。教育行政の詳細につきましては、教育行政執行方針の内容も含め、このあと石川教育長から申し述べますのでお聴きいただきたいと思っております。

地方創生関係について

地方創生関係につきましては「利尻富士町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿って行っておりますが、今年度の具体的な内容について申し述べます。

漁業分野では、漁業担い手の育成・確保推進事業として、資格取得や研修、住宅賃貸補助を継続するほか、山岳イベントや前段で触れました北海道遺産群など地域の自然や生活、産業等を活かした新たな観光資源の発掘を進めてまいります。妊産婦の健康診査に係る自己負担の軽減や交通費の助成による間接的な支援を行ってまいりましたが、今年度は産後一か月前後の身体的・内面的に不安定な母親の健診機会を助長するため、費用に係る自己負担の助成と交通費や宿泊費の支援を拡大することとし、不妊治療についても島外医療機関への交通費や宿泊費の一部助成を継続するとともに子ども医療についてもこれまで同様の支援措置を実施し

ます。

次代の社会を担う子ども一人ひとりの育ちを社会全体で応援するため、子育てにかかる経済的な負担の軽減や離島でも安心して子育てができる総合的な子ども・子育て支援が必要です。今年度は「子ども・子育て支援事業計画」五カ年の第二期計画の策定を進めながら、本年一月に本格実施を開始した「ファミリーサポート事業」による子どもの一時預かり事業の充実を図ってまいります。

さらに、これまでも本町独自で支援してきました「出産子育て安心支援金」や今年度は第三子が一歳になる十一世帯にも「出産祝い金」の給付を続けてまいります。

また、今年度も商工会青年部が開催する結婚支援イベントに助成するほか、女性定住奨励金の支給、結婚祝金を支給し、若者の移住・定住の促進を図るパッケージ事業として予算を計上しており、島内高校への通学支援として給付金を支援し、地域安心応援特典券交付事業でも引き続き在宅介護世帯に地域商品券を交付するなどし、対象世帯の負担軽減を図ってまいります。



平成三十一年度財政運営について

最後に、本町の財政運営について申し上げます。

本町の財政状況は、議会や町民の皆様方の行政改革に対するご理解とご協力のもと着実に進められており、財政健全化法に基づく四つの指標はすべて国の基準をクリアしています。

これからご審議頂きます平成三十一年度の予算は、本町の厳しい財政状況の中で限られた財源の重点的・効率的な配分に留意し、町民皆様の暮らしを守ることを念頭に予算編成を行ったところであります。

その中で、建設事業費は、一般会計・特別会計合わせて二十一億九百四十二万八千円となり、前年度対比四十九・九%の増額を見込んでおり、これら事業費によって地域の雇用、経済の好循環を促すための景気対策を講じようとするものであり、働く場をしっかりと確保しますが、不足する財源を補うために基金を取り崩し充てることとしており、そのうち、全国から寄せられている「ふるさと応援寄附金」の一億五千万円を有効に活用すべく三十五の事業に充てたいします。

その結果、一般会計の予算規模は三十八億七千四百万円とし、対前年度比では八億二千八百五十万円減、率で十七・六%の減額予算となっています。また、簡易水道事業特別会計ほか九つの特別会計の合計で三十五億千五百四十九万円。一般会計、特別会計を合わせた総額では七十三億八千九百四十九万円となり、

前年度対比十二・五%増で、五年連続の増額予算としております。以上、平成三十一年度の町政執行に対する、私の所信の一端と主要な施策を申し述べましたが、まちづくり創造総合計画のサブタイトルでもある「ふるさとを魅力あふれる宝の島に」となることが出来るよう計画に沿った諸施策をしっかりと実行し、各分野、

各関係者が一丸となって、来年本町が開町百四十年、町名変更三十年の節目に向け、町のさらなる飛躍に向けて準備を進めていきたいと望んでおり、私が町長就任時から提唱している「町民が主役のまちづくり」を基本理念として、各種の会合の場で住民から頂いた要望や意見等に誠意をもって力の限りを傾注し「町民全

体が健康で元気に活躍できるまちづくり」に向け、ふるさと利尻富士町の先頭に立つて町政運営に邁進していく所存でありますので、町議会議員の皆様をはじめ、町民皆様の温かいご支援と、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。平成三十一年度の町政執行方針とさせていただきます。

平成31年度 建設事業一覧表

【一般会計】

単位：千円

事業名	事業費
総務費	
土地購入費	3,019
パソコンOS更新業務委託	2,808
行幸啓記念碑建立工事	3,000
住民基本台帳ネットワーク機器更新整備費	4,104
計	12,931
衛生費	
火葬炉補修工事	2,614
計	2,614
農林水産業費	
大森地先法面点検業務	1,000
離島漁業再生支援交付金	44,012
海岸漂着物処理業務委託料	6,000
漂着船解体業務	3,300
特定有人国境離島漁村支援交付金	5,800
計	60,112
土木費	
町道改良工事(栄町3号線)	42,000
町道側溝改修工事	11,200
町道補修工事	6,900
滝の沢橋補修工事	3,100
鴛泊港整備事業負担金	64,000
街路灯整備工事	2,000
公営住宅個別改善工事	96,500
飛行場標識施設補修工事	2,000
飛行場性状及び制限表面物件調査	10,500
計	238,200
消防費	
旧消防庁舎解体設計業務委託	5,000
防災基盤システムデータ構築業務	3,157
災害時対応公衆Wi-Fi整備工事	4,200
防災無線屋外拡声局移設工事	542
光ケーブル移設工事	1,000
新規加入者増設工事	870
計	14,769
教育費	
スノーモービル購入費	1,644
計	1,644
合計	330,270

教育行政 執行方針



平成三十一年利尻富士町議会定例会三
月会議の開会にあたり、教育行政の執行
に関する方針を申し上げ、議員各位並び
に町民皆様のご理解とご協力を賜ります
ようお願い申し上げます。

今、我が国は人生百年時代を迎えよう
としておりますが、人口減少問題や少子
高齢化の進行、高度情報化やグローバル
化の進展、更には多発する自然災害への
対応など、社会情勢が大きく変化する中
で、全ての人が豊かな人生を生き抜くた
めに必要な力を身に付け、元気に活躍し
続ける社会を実現していくうえで、「教
育の力」の果たす役割は非常に大きくな
っています。

本町の子どもたちが、ふるさとを愛す
る豊かな心と高い知性を持ち、二十一世
紀を切り拓くたくましい人材に育ってい

くことができるよう、教育委員会としま
しては「利尻富士町教育目標」に掲げた
基本理念のもと、「利尻富士町教育大綱」
に掲げる三つの具体的な基本指針を柱と
した諸施策に、積極的に取り組んでまい
ります。

それでは、平成三十一年度における各
分野の主な施策について申し上げます。

一．社会で活きる実践的な学力 を育成する教育の推進

子どもたちが未来社会を切り拓くため
の資質・能力を育成し、一人ひとりが夢
や希望を持って「生きる力」を身に付け
るためには、教育の質の向上を図りなが
ら、学校・家庭・地域・関係機関が強く
連携した取り組みを更に深化させていく
ことが求められています。

そのため、今年度新たに二〇一九年度
からの五カ年計画として策定した「利尻
富士町学校教育推進計画」を踏まえ、着
実に学校教育の推進を図るとともに、今
年度より実施しているコミュニティ・ス
クールの活動を推進し、地域と共にある
学校づくりから学びを創造し「確かな学
力」「健康な体」「豊かな心」を育み、
児童生徒が自らの夢や希望を実現し社会
で活かせる教育を推進いたします。

① 「確かな学力の育成を目指す教育の推 進」

児童生徒の基礎的・基本的な知識、技
能の確実な習得と、これらを活用する思

考力・判断力・表現力などの育成に取り
組むとともに、学力向上プランのもと、
個に応じた指導を実践することにより
「確かな学力」の育成、学習意欲の向上
に努めます。

新年度より新たな取り組みとして、基
礎学力の向上と学びの習慣づけ、個々の
自信と挑戦心に繋げるため、小学三年生
以上は漢字検定と算数検定、中学生には
漢字・英語・数学検定の検定料の全額助
成を実施いたします。

② 「特別支援教育の推進」

特別支援教育においては、共生社会の
形成に向けて、一人ひとりの教育的ニ
ーズに応じた指導や支援の充実を図ってま
いります。

新年度は、利尻富士町教育支援委員会
の答申を踏まえ、利尻小学校に新たに特
別支援学級を一学級追加設置することと
なり、町内小中学校では鴛泊小学校一学
級、利尻小学校三学級の四学級体制とな
ります。

また、鴛泊小学校・利尻小学校にそれ
ぞれ、特別支援教育補助員を配置するこ
とで教育的ニーズに対応するとともに、
家庭や地域、関係機関・団体との連携に
努めるなど、一人ひとりの自立と社会参
加を目指す特別支援教育を推進いたしま
す。

③ 「国際理解教育・情報教育の充実」

国際社会において主体的に行動できる
資質・能力を育成するために、就学前か

ら外国語に親しむ機会を提供するととも
に、現状の取り組みを一層充実させるこ
とで外国語によるコミュニケーション能
力の育成を図ります。また、ICTを活
用した情報活用能力の育成に努めてまい
ります。

具体的には、外国語指導助手（ALT）
による指導や外国語に親しむ機会の充実、
異文化や外国人とのふれあいを深める体
験交流としてサマイングリッシュキャ
ンプを継続実施するほか、ICTを活用
した多様な体験・交流機会創出へ向けた
取り組みの検討を進めてまいります。

④ 「ふるさと教育・キャリア教育・産業 教育の充実」

地域の自然、歴史、文化、伝統行事、
産業といった教育資源「ひと・もの・こ
と」を活かし、学校・家庭・地域が一体
となって、ふるさとに誇りを持ち心豊か
でたくま
しい子ども
の育成に努
めます。

具体的
には、町内小
学校六年生
を対象とし
た、利尻島
上空遊覧飛
行体験の実
施、及び各
校で取り組
んでいる特



製品の育成から販売に至るまでの「調べ学習」、昆布干しや遺跡発掘などの体験学習、利尻漁業士会の協力による昆布やおオナゴに関する出前授業の参加、中学校では職場体験を行うなど「ふるさと教育活動」を通して、郷土の課題や展望について進んで考え、自らが生まれ育ったふるさとに愛着をもち、ふるさとの良さを生かすことのできる人材育成に取り組みんでまいります。

⑤ 「へき地・複式教育の推進」

本町における出生数の推移状況からも、近い将来、複式学級が増加することも考えなければならぬ状況にあります。子ども同士による学び合いや高め合い、多様な学習活動の工夫や個に応じた指導の充実を図っていくことが重要となります。

また、少人数の特性を生かした特色ある教育を推進するとともに、自ら主体的に学習を進めることを促す指導の充実、地域の教育資源の積極的な活用や一人ひとりの良さや可能性を伸ばす指導の充実を図ってまいります。

⑥ 「主体的に考え判断する心の育成」

子ども達の健やかな成長のためには、思いやりの心や規範意識、自然を愛する心などを通して、豊かな心や人間性・社会性を育む教育が重要となります。

そのため、「道徳教育の充実」、「読書活動」や「体験活動」の推進、「コミュニケーション能力の育成」、「いじめ

の防止や不登校児童への支援の取り組み」の充実を図ってまいります。

「道徳教育の充実」につきましては、一人ひとりが生き方や社会の在り方を創造する考え持ち、多様な価値観の存在を認識しつつ、自ら考え、他者と対話し協力しながら必要な資質・能力の育成を図ってまいります。

「読書活動」につきましては、「利尻富士町子ども読書プラン」に基づき、学校図書や図書室の整備充実や社会教育管理図書と学校の連携を推進することで、子どもの読書活動を積極的に推進します。また、今後も地域のボランティア団体の協力により「読み聞かせ活動」の継続的な取り組みを実施いたします。

「体験活動」につきましては、「人づくり」の原点であるとの認識のもと、学校における多様な体験活動と地域の特色を生かした体験活動を推進してまいります。

「コミュニケーション能力の育成」につきましては、児童生徒が自分の考えをもち、表現しながら考えを形成したり、深化させたり、より良い人間関係が形成されるよう各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習時間等における言語活動の充実を図り、コミュニケーション能力を高める学習活動の充実に向けた取り組みを推進いたします。

「いじめの防止や不登校児童生徒への支援の取り組み」につきましては、「いじめや不登校は、どの学校にも起こりうる」との認識の下で、早期発見・早期対応、積極的な認知と情報共有の徹底を促

すとともに、日常から児童生徒と教師との信頼関係の醸成と、児童生徒間の人間関係の構築に努めるとともに、ネット上のトラブルから児童生徒を守るための取り組みについても学校・家庭・地域・関係機関と連携を密にして取り組んでまいります。

⑦ 「豊かな人生の基盤となる体育の育成」

心身ともに健やかに生きるためには、子どもの頃から体力・運動能力の向上と食育の推進、健康教育の充実が必要です。

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を基に、計画的・組織的な体力・運動能力の向上を図るとともに、スポーツ機会の充実を目指し、学校や地域等において、すべての子どもがスポーツを楽しむことができる環境の整備を図ってまいります。

また、朝食欠食などの食習慣の乱れや、生活習慣の乱れなどに起因して、肥満や生活習慣病、アレルギー疾患等の増加など、子どもたちの健康課題は多様化していることから、学校・家庭・地域が連携・協働して、社会全体で食育活動や健康づくりに取り組んでまいります。また、児童生徒の健康診断やフッ化物洗口などについても、保護者の理解を得ながら継続実施することで子どもの適切な健康管理に取り組みでまいります。

二. 安心・安全な教育環境の整備と支援の推進

子どもたちの健やかな成長を促すためには、安心して学べる場と安全な教育環境の整備が必要です。そのため、町が所有する教育施設や設備等をより効果的に活用するとともに、安心・安全で質の高い教育環境の充実を図ってまいります。

① 「学校施設・設備の充実」

学校施設は児童生徒の学習・生活の場であるとともに、災害時は指定避難所としての役割や、平時においても地域コミュニティの拠点としての役割も担うことから、地域の拠点施設として極めて重要な施設です。本町では利尻小学校・鬼脇中学校の整備により、小中学校施設の耐震化率が100%となりましたが、町防災部局とも連携を図り学校備蓄資材の整備を図ってまいります。

また、地域に開かれた学校として、学校開放事業を推進してまいります。

学校設備としては、必要な義務教育教材備品等を整備するほか、国の第三期教育振興基本計画を踏まえた、新学習指導要領実施に向けての学校のICT環境整備方針に基づき、本町のICT環境の更なる活用や環境整備について検討を重ねてまいります。

② 「学校運営の改善」

学校を取り巻く環境は複雑化・多様化し、学校現場が直面する課題も多種多様であり、教員は様々な教育課題への対応を求められています。教員が健康でやりがいを持って働くことができる環境を整

え、子どもたちと向き合える時間を確保するために、教員の負担を軽減する取り組みの実行が求められています。

そのため、本年度策定しました「利尻富士町立学校における働き方改革アクション・プラン」に基づき、学校・家庭・地域・行政が連携し、保護者や地域住民の理解を得ながら、教職員が教育活動に集中し専念できる環境整備を図ってまいります。

③「学校段階間の連携・接続の推進」

子どもの能力・個性を最大限伸ばす教育を進めるためには、就学や進学時におけるつまづきを無くすため、学校間の円滑な連携・接続を図ることが求められています。

そのため、保育所から小学校・中学校・高校と学校段階間の連携・交流の強化に努めてまいります。

④「教職員の資質・能力の向上」

学校教育の直接の担い手である教職員には教育に対する強い情熱や使命感、豊かな人間性や社会性、高い指導力等の専門性を身に付けることが求められていますので、教職員の経験等に応じた研修を工夫し、教職員一人ひとりの資質や能力を一層高める研修の充実を図るとともに、教育公務員としての自覚や使命感を深め、服務規律や法令遵守の徹底を図ってまいります。

三、生涯学習の充実と文化・スポーツ活動の振興

町民が心豊かで生きがいのある生活をおくるためには、生涯を通じて積極的に学び、その成果を生かせる環境が必要で

す。そのため、町民一人ひとりが豊かに学び、文化やスポーツを楽しむ環境を整え、るとともに、地域を担う人材の育成を支援するために、効果的な事業の推進を図ってまいります。

①「生涯学習の推進」

学校教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、趣味など多様な学習機会を通じて、町民一人ひとりが自己の人格を磨き、豊かな人生を送れるよう生涯学習社会の実現に向けた取り組みを推進いたします。

また、公民館や社会教育施設等の活用を推進し、町民のニーズに応じた活動機会を提供するなど、町民が利用しやすい環境整備を図ってまいります。

②「青少年の健全育成」

青少年の心と体の健全な育成を促し、自主性・社会性や正義感、倫理観を持った豊かな人間性を育むため、多様な学習活動、体験活動を経験できる活動機会の創出を図ります。

具体的な取り組みとして、地域の参画を得ながら、子どもたちと共に学ぶ

やスポーツ・文化活動等の取り組みを支援する「放課後子ども教室推進事業」を実施いたします。また、週末や休日等に体験プログラムを提供する「土曜教育支援活動」を実施し、バトミントン教室・書道教室・水泳教室・かるた教室など、有意義な休日の過ごし方を支援いたします。

また、長期休業時に北海道教育大学旭川校や利尻高校と連携し、「夏休みチャレンジ教室」や「冬休みチャレンジ教室」を継続実施するほか、利尻富士町青少年健全育成町民会議の取り組みについても連携し実施してまいります。

③「文化・芸術活動の推進及び文化財の保存と活用」

心のゆとりや潤いに繋がる文化・芸術活動は人生の生きがいとなり、生涯学習社会の中で果たす役割は重要です。

地域に根差した文化・芸術活動を推進し、優れた文化・芸術に触れる機会を提供いたします。

また、歴史や伝統を伝える様々な文化財の保全に努めるとともに、歴史文化の伝承活動を推進するほか、利尻富士町の文化遺産を活用した学び交流事業についても積極的に取り組んでまいります。

具体的な取り組みとして、劇団四季の利尻公演の開催、町文化協会の活動に対する支援、南浜獅子神楽子ども伝承教室の活動に対する支援、沼浦遺跡調査や文化遺産を生かした利尻学講座の実施、町指定文化財の説明板の更新、郷土資料館

やりつづ館の展示品の更新などの工夫による利用促進の取り組みを実施してまいります。

④「スポーツ活動の推進」

町民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでも安全にスポーツに親しむことができる活動機会の提供、及び生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の整備を推進してまいります。

具体的には、町内スポーツ少年団の育成支援、町体育協会の活動に対する支援、地域におけるスポーツ推進の中核的な役割を担う指導者の育成を実施するほか、各種スポーツ大会やイベントについても積極的に支援いたします。

また、社会体育施設についても適正な維持管理を図ることでスポーツに親しむ活動機会の提供に取り組んでまいります。

以上、平成三十一年度の教育行政執行方針を申し述べました。

教育委員会としましては、利尻富士町教育目標及び教育大綱に掲げた、本町が目指すべき教育理念及び基本方針に基づく各施策を、学校・家庭・地域・関係機関と連携のうえ、しっかりと実行してまいりますので、町民の皆様並びに町議会議員の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

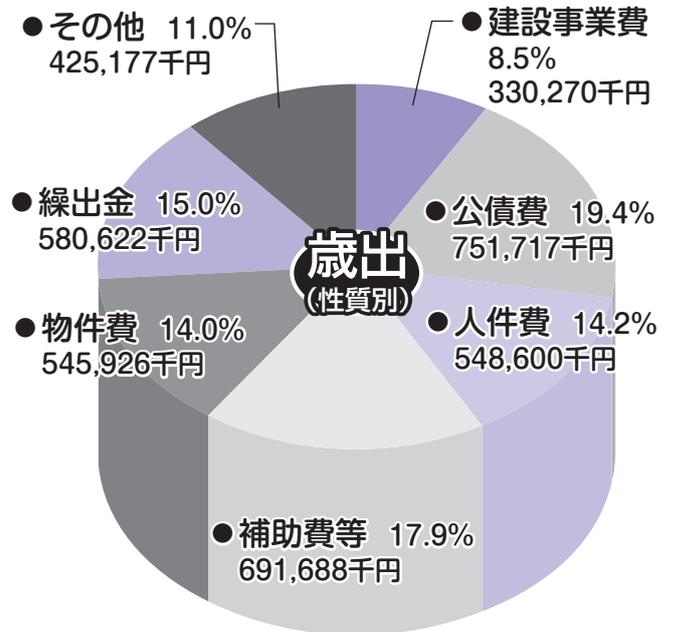
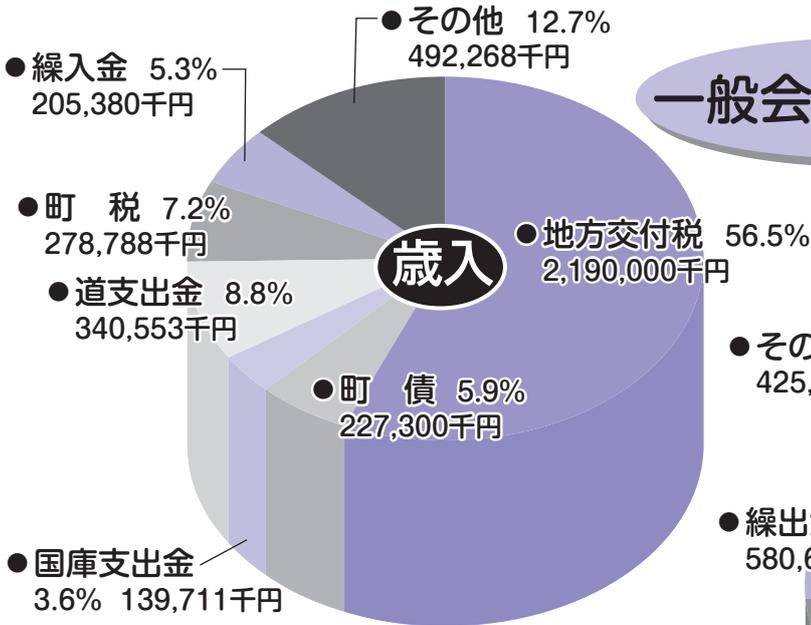
一般会計の歳入・歳出予算額は…

38億7,400万円

令和元年度の当初予算額は、前年度比17.6%の減となっております。特別会計の合計35億1,514万9千円と合わせた町の予算総額は73億8,914万9千円で、平成30年度当初予算と比較すると、約12.5%（8億1,914万4千円）の増額となります。

令和元年度の
予算概要
をお知らせします。

一般会計予算は？



特別会計予算

単位：千円

	令和元年度	平成30年度	比較
簡易水道事業特別会計	87,468	124,222	△ 29.6%
下水道事業特別会計	194,283	208,047	△ 6.6%
港湾整備事業特別会計	65,761	63,481	3.6%
温泉事業特別会計	62,062	58,267	6.5%
国保事業特別会計	399,569	393,116	1.6%
後期高齢者医療特別会計	49,290	53,236	△ 7.4%
介護保険事業特別会計	335,304	335,188	0.1%
介護サービス特別会計	2,186,870	502,951	334.8%
歯科施設特別会計	57,200	56,660	1.0%
国保施設特別会計	77,342	72,337	6.9%
合計	3,515,149	1,867,505	88.2%

目的別歳出予算

単位：千円

科目	予算額
議会費	45,323
総務費	535,247
民生費	560,878
衛生費	306,011
労働費	83
農林水産業費	114,209
商工費	171,803
土木費	775,484
消防費	207,918
教育費	228,609
地方創生費	20,296
公債費	751,717
諸支出金	153,421
災害復旧費	1
予備費	3,000
合計	3,874,000

教育長退任挨拶

利尻富士町教育委員会

前教育長 石川武弘

町民の皆様には繁忙期を迎え、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。私は、平成十八年四月に利尻富士町教育委員会教育長に就任以来、平成三十一年三月まで四期十三年間にわたり教育長という重責を全うできましたことは、町民の皆様を始め多くの教育関係者や職員のご指導・ご鞭撻の賜物と深く感謝しております。

就任以来、教育基本法の改正、全国学力・学習状況調査の実施、そして法律の改正により教育委員長と教育長が一本化され「新教育長」となるなど、教育行政も大きく変化しました。

また、折しもいじめによる自殺や通学時の事故が全国あちこちで起きており、本町の子どもたちには悲惨な事件や事故が起こらないようにと願っておりますので、そのようなこともなく元気な子どもたちの姿を見て安堵しているところです。

そして、利尻小学校と鬼脇中学校が小中併置校として開校し、新築校舎で子どもたちが明るくのびのびと小中連携教育に取り組み、より一層充実した学校教育が出来ることは大変喜ばしいことでありました。

今後とも、子どもたちが夢や希望を持ち続けることができる学校教育の推進と、町民が生涯にわたって心豊かな生活を送れるよう生涯学習の充実を願っております。

結びに、町民の皆様のご多幸と、町政並びに教育行政の一層の発展をお祈り申し上げ、退任にあたってのお礼の挨拶といたします。



教育長就任挨拶

利尻富士町教育委員会

教育長 島谷一昭



就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

この度、町長からご推薦をいただき、去る三月十三日開催の利尻富士町議会定例会三月第二回会議におきまして、満場一致のご同意を賜り教育長に任命されました。

このような大役をおおせつかり、身に余る光栄でありますとともに、責任の重さに身の引きしまる思いでございます。

もとより微力ではございますが、利尻富士町教育目標及び教育大綱に掲げた、本町が目指すべき教育理念及び基本指針に基づく各施策を、教育委員・学校・家庭・地域・関係機関と連携し取り組んで参る所存でございますので、町民の皆様におかれましては、今後とも温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

新 消防署利尻富士支署



概要紹介

利尻 礼文

この度建設中でありました「利尻礼文消防事務組合消防署利尻富士支署」が今年3月に完成しました。

旧庁舎は40年余り経過した建物であり、老朽化が進み又津波浸水想定区域に建てられており、消防関係者からも強く要望もあったことから平成28年度より建替え事業に着手し、平成30年4月より庁舎建設を進めてまいりました。

これからの消防行政を考え無給油で3日間稼働できる自家発電装置を備え付け、そして建物敷地も充分取り、火災時や災害時駆けつけてきた団員の車の駐車スペースを確保し、署員・消防団員の様々な訓練に対応できるようになっており、又救急車専用車庫を設け衛生面に考慮し、消防団会議室には視聴覚設備を完備し団員研修等にも充分に対応させ、それが知識・技術の向上へつながり、住民皆様方の安心・安全保持に反映される事と思っております。

工事概要

◎構造	鉄筋コンクリート2階建	ホース乾燥室3階建
◎規模	建築面積 930.44㎡	延べ床面積 1436.61㎡
◎事業費	総事業費 655,526千円	建築主体 415,800千円
	電気設備 108,000千円	機械設備 109,080千円
	管理委託 13,500千円	無線移設 8,100千円
	電話移設 1,046千円	

施設コンセプト

- ◎災害対策拠点として機能を発揮できる施設
- ◎人と環境にやさしい施設
- ◎町民に親しまれる施設

庁舎内概略配置図

1階



2階





町内新就職者紹介

- ①出身地 ②配属先
- ③趣味・特技
- ④今後の抱負



あべ たかや
阿部 鷹矢さん

- ①利尻富士町
- ②利尻郡清掃施設組合
ごみ焼却処理場 焼却業務全般
- ③映画鑑賞
- ④業務を全て覚えて社会に貢献できるように頑張ります。まだ日は浅いですが、職場環境がとても良く、働き甲斐があるので毎日がとても充実して、やりがいを感じます。



いせ まゆこ
伊勢 茉由子さん

- ①利尻富士町
- ②株式会社利尻島振興公社
利尻空港カウンター
- ③スキー、音楽鑑賞
- ④お客様に最高のサービスを提供できるようにいつも笑顔で頑張ります。まだまだ慣れないことばかりで皆様にご迷惑をおかけすることがあると思いますが、よろしくお願ひいたします。



さとう しゅんすけ
佐藤 駿介さん

- ①利尻富士町
- ②利尻富士町役場 建設課
まちづくり係兼渉外係
- ③絵・ゲーム
- ④社会人としてのマナーや一般常識など仕事以外にも覚える事がたくさんあるので、一つ一つ焦らずに身に付けていきたいと思っています。



じょう ふくけい た
上福 啓太さん

- ①利尻富士町
- ②利尻郡清掃施設組合
ごみ焼却処理場 オペレーター
- ③映画鑑賞、球技全般
- ④4月からごみ焼却処理場で働くことになりました。上福啓太と申します。働き始めて約2か月がたち、徐々に一人で任せられる仕事が増えてきて、責任を実感する場面が増えてきました。その中でミスをしたりわからないこともありませんが、そんな時でもフォローして下さる先輩方にはとても感謝しています。早く仕事に慣れて、少しでも先輩方の力になれるよう精一杯努力していきたいと思っています。



たけうち なみき
竹内 波稀さん

- ①札幌市
- ②利尻富士町役場 議会事務局
- ③釣り、スノーボード
- ④この4月から利尻に来ました、議会事務局の竹内です。早2か月が経ち、島の生活にもだんだん慣れてきました。まだまだ、町のことや、町民のことなどわからないことも多いので、早くできることを増やし成長していきたいと思っています。多々、ご迷惑をかけることもあるとは思いますが、日々頑張りますのでよろしくお願いいたします。



つつみ ゆうせい
堤 勇晴さん

- ①利尻富士町
- ②利尻自工株式会社
自動車整備
- ③バスケットボール、ゲーム
- ④少しでも早く物事を覚えて、自動車を整備できるようになりたいと思っています。



もり みなみ
森 みなみさん

- ①東京都
- ②利尻富士町役場 産業振興課
商工観光係
- ③お絵描き、デザイン、おしゃべり
- ④今年の春に跡見学園女子大学を卒業し、東京から移住して2か月がたちました。新しい環境で慣れないことも多くありますが、日々勉強を怠らず、人との関わりを大切にしながら、一日でも早く仕事を覚えたいです。そして今までになかった目線で利尻島に新しい風を吹かせられるよう、何事も全力で取り組みますのでよろしくお願いいたします。



なが おかとしき
長岡 俊紀さん

- ①利尻富士町
- ②利尻富士町役場 福祉課
国保衛生住民係
- ③釣り（今年から始めました）
- ④8年ぶりに地元へ戻り、色々の変化を感じる中で何か小さな所からでも地域の力になれたらと思っています。

わがまち
タイムスりっぷ

連載^④

昭和30年新調のモッコ

ゴールデンウィークの最中に見られたニシンの群来^{くき}。60数年ぶりの現象に、初めて見られた方が大多数だと思いましたが、当時を懐かしんだ方もいらっしやったことと思います。

昭和30年ころを境にパツパツといなくなったニシンは、その後の漁業や生活のスタイルを変更せざるを得ないほど、当時の生活に多大な影響を与えていました。当時のニシン漁は、毎春産卵のために沿岸に押し寄せる魚群を網で獲る漁法のため、大漁すると人海戦術で処理しなくてはなりません。そのようすは、写真や漁具などから図り知れますが、とくに網やモッコなどの漁具には、ニシンのウロコが貼りついたままになっています。しかし、昭和30年に新調された漁具には、ウロコがわずかししか貼りついておらず、その盛衰を物語っているかのようです。

今回を機にまた、ニシンが毎春獲れていくことで、当時の記録や記憶が生かせればと願っています。



昭和30年に新調されたモッコ
(梅谷哲夫氏提供)

資料のご提供や記事に対するご意見などは、
教育委員会 山谷：電話82-1370までお寄せください。

保健師だより

総合保健福祉センター

年に1度は特定健診で身体の状態を確かめよう!

ありませんか?
こんな心当たり

- 味の濃いものや塩辛いものをよく食べる
- 脂っこいものをよく食べる
- 野菜や海草をあまり食べない
- 満腹になるまで食べる
- 間食や夜食をよく摂る
- 両親もしくはどちらかの親が高血圧症、脂質異常症、糖尿病にかかっている(いた)
- 家族が心臓病や脳卒中にかかっている(いた)
- お酒をたくさん飲む
- たばこを吸う
- 定期的に体を動かす習慣がない
- 睡眠不足である
- ストレスをためやすい

該当する項目が多いほど生活習慣に問題があり、病気の危険性は高まります。

5月12日～15日にかけて、町民332人の方に春のすこやか健診を受診していただきました。健診結果が戻ってくる6月には結果説明会を行い、管理栄養士や保健師と共に日頃の生活習慣を振り返る機会を持つことができました。

次回、**秋のすこやか健診は9月26日～28日**です。生活習慣病予防のための特定健診の他、各種がん検診、※風疹抗体価検査(抗体保有率の少ない40～50歳代の男性のみ)などが受けられます。町民みなさまの受診をお待ちしています!

※対象の方には個別でお知らせいたします。

【お問い合わせ】 利尻富士町居宅介護支援事業所(保健センター内) ☎82-2320



警察官ご紹介



鴛泊駐在所 所長 ^こ ^{じま} ^{けん} ^し 小島 研治 さん

本年4月1日から鴛泊駐在所で勤務している、警部補小島研治です。前任は、札幌方面西警察署です。離島勤務は初めてであり、まだまだ慣れていない現状です。利尻島には、20年ほど前に職場の仲間と観光に来た思い出があり、一度勤務したいと願っていた場所です。利尻富士町が、安全で安心して暮らすことができるように微力ながら努力しますので、これからもよろしくお祈りします。

地域おこし協力隊を紹介します



^た ^{なか} ^{ゆう} ^{すけ} 田中 悠亮 さん(25歳)

【出身地】札幌市
 【担当業務】公務補、公務アシスタント
 【趣味】釣り、サイクリング、サッカー
 【特技】楽器修理制作、刃物を研ぐこと
 【今後の抱負】中学校の音楽の授業に必要な機材のメンテナンスや知識の共有をよりしていきたいと思います。また、校内の修理など、自らのスキルを活かして、より生活のしやすい校内にしていこうと思います。
 至らない所もありますが全力でサポートしていきます。

戸籍の窓口

(平成30年12月1日～平成31年4月30日)

♡ご結婚おめでとうございます♡

月日	氏名	住所	月日	氏名	住所
H30.12.27	長岡 俊紀 様	栄町1	H31.1.31	三木 優太 様	富士野
	半澤 沙英 様	栄町1		藪 奈津実 様	富士野

◆お悔やみ申しあげます◆

氏名	月日	年齢	住所	氏名	月日	年齢	住所
西谷 英三 様	H30.12.1	86歳	秀峰園	前田 秋雄 様	H30.12.4	89歳	本泊
上田 博志 様	H30.12.7	89歳	鬼脇1	三上恵美子 様	H30.12.8	75歳	野塚
大高カツヨ 様	H30.12.13	94歳	秀峰園	高橋 ツエ 様	H30.12.25	96歳	栄町1
佐藤 春雄 様	H31.1.6	97歳	秀峰園	工藤 シゲ 様	H31.1.8	91歳	野塚
田牧昌次郎 様	H31.1.14	88歳	沼浦	成田 広悦 様	H31.1.25	94歳	南浜
綾女 行敏 様	H31.2.15	94歳	秀峰園	吉岡 キクエ 様	H31.2.17	96歳	秀峰園
大野 順一 様	H31.2.26	90歳	南浜	佐藤 萬 様	H31.3.1	95歳	栄町1
山本 祐子 様	H31.3.2	80歳	秀峰園	岩木 キネ 様	H31.3.2	90歳	秀峰園
長森 典子 様	H31.3.6	73歳	栄町2	小松 シヅエ 様	H31.3.14	96歳	秀峰園
正田 浩 様	H31.4.17	92歳	本泊	神成 直子 様	H31.4.19	65歳	本泊
川村 きみゑ 様	H31.4.25	97歳	秀峰園				

アプリ版 知らせますケンについて

今年の1月から順次IP告知端末機の入替作業を実施していたところですが、令和元年6月5日からIP告知放送が自宅にあるIP告知端末だけではなく、スマートフォンでも放送を聞くことができるようになりました！

スマートフォンで聞く際には、アプリの登録が必要で、Android版とiPhone版があり、詳しい設定方法は、6月5日配布したチラシをご覧くださいか、町のホームページをご覧ください。



※アプリ版の登録については、町内の方だけではなく、学校や仕事などで町外にいる場合や、町外にいるご家族・ご親戚もアプリを登録することができ、町外にいても町の情報をリアルタイムに取得することができます♪

【アプリについてのお問い合わせ先】

株式会社 アイ・コミュニケーション

☎0120-351-025 (9:00~18:00/土日祝日除)

✉sk2@i-communication.co.jp



IP告知端末機の設置・撤去に関するお願い

- ①長期不在等でIP告知端末がいまだ旧端末(白)の方は、下記問い合わせ先までご連絡ください。日程調整後、新端末を設置しに伺います。
※旧端末(白)は、9月末以降使用できなくなる予定ですので、お早めにご連絡ください。
- ②転居や転出等で、今後誰も住まない・解体予定等の場合は、端末を撤去いたします。

【IP告知端末の設置・撤去のお問い合わせ先】

利尻富士町役場総務課企画調整係 ☎0163-82-1112



編集後記

平成も終わり、令和が始まり早1か月が経ちました。

令和「元」年の今年は、町民の皆様が事故やケガがなく、無病息災の年になることを祈っております。

広報についてご意見等ございましたら総務課企画調整係までご連絡ください。



人口のうごき

(平成31年4月30日現在)

	男	女	計	世帯
鴛泊	831	898	1,729	866
鬼脇	362	382	744	431
合計	1,193	1,280	2,473	1,297